

黒田庄まちづくり協議会より

第142号3月

第2回理事会の開催

去る3月9日(金)午後7時30分より黒っこプラザにおいて、黒田庄まちづくり協議会第2回理事会を開催しました。理事会のメンバーは、会長、副会長、理事(区長、部会長、副部会長)の24名です。

議題は、平成29年度黒田庄まちづくり協議会事業報告・会計決算見込み報告及び構成団体等活動費・補助金の交付状況報告をしました。また、今年度の総括及び来年度に向けての協議で、今年度のまちづくり活動の問題点及び来年度の取り組みについてなどを協議しました。



まちづくりワークショップの開催

去る2月28日(水)午後7時30分より黒っこプラザにおいて、まちづくりワークショップを開催し、25名の参加があり、活発な話し合いができました。

講師は、リーダー育成講習会と同じ「人・まち・住まい研究所」代表社員の浅見雅之氏で、3班に分かれてワークショップを行い、最初に今年度のまちづくり活動の総括として“できたこと”“できなかったこと”を抽出しました。

“できたこと”は、黒田庄つうしん発行、秋谷公園遊歩道整備、インドヨガ教室、住民カフェ(交流カフェ)、官兵衛まつりなど。“できなかったこと”では、世代間交流(若者のあつまり、女性のあつまり)、弱者支援(買い物支援)・災害時の援護の取組み、イベントの町外へのPR不足、里山の案内図、特産品の開発、子どもの見守りの取組み、つくしバス利用促進、あつまっ亭の活性化、防災活動(防災訓練等)、協議会の Facebook 情報発信、観光にまつわることなど。

次に、“難しいこと”“簡単なこと”の活動に分け、“難しいこと”は、弱者支援・買い物支援、多可高スクールバス、女性のあつまり、子どもの見守り、空き家の活用などで、“簡単なこと”では、Facebook はすぐOK、特産品の開発、やりたい人が役をするように、住民カフェを各集落で、まちづくり協議会の部会の連携などの意見がありました。

最後に、“やめること”“あらたにやること”“とりあえずもう少しおいておく”の意見交換を行いました。

(情報・企画部会)



まちづくりワークショップの様子



編集・発行
黒田庄まちづくり協議会
西脇市黒田庄町前坂2140番地
Tel 28-2121
平成30年3月15日発行



黒田庄地区の人口

(H30.3.1現在)

男 3,335

女 3,570

計 6,905

世帯数 2,630

人口前月比 (-13)

大門集落の活動

<第6回旭将軍“木曾義仲”供養祭の開催>

西脇市指定有形文化財である十三重の石造層塔(高さ4.7m)は、その造り方の様式から、鎌倉時代後期(14世紀)に、かつて旭将軍と呼ばれた“木曾義仲”の供養塔として建立されたと伝えられています。

大門集落では、平成24年11月の十三重の石造層塔移設工事を機に、地区内外の交流の輪を広げ、地域の活性化を図るとともに、木曾義仲の人物像や、大門の地に建立された目的など、歴史に関心を持ち続けることが供養と考え、毎年供養祭を開催しております。

今年は1月14日(日)に大門ふれあいパートⅡとんど焼きの後、十三重の石造層塔建立地において

第6回旭将軍“木曾義仲”供養祭を開催しました。供養祭では、地元東光寺の押田充生住職が読経し、参加者全員が焼香をして旭将軍“木曾義仲”の供養をしました。



<自主防災訓練の開催>

去る2月25日(日)に大門集落の安全・安心なまちづくりの一環として、地域住民の防災意識の高揚及び災害対応能力の向上を図るとともに、災害による被害防止・軽減、自主防災会の組織強化の機会とするため、大門自主防災訓練を実施しました。

訓練想定は、“台風18号の襲来で豪雨となり、加古川が急激に増水して、避難判断水位に達するとともに、門柳川も増水しており、床上・床下浸水のおそれがあるため、避難勧告が発令され避難を開始する。また、同時に御所谷断層を震源とした直下型地震により、西脇市において震度6弱を観測した。この地震により、家屋の倒壊や火災などが発生している。”

これらの風水害・地震の災害を想定し訓練を行いました。

訓練の内容は、午前8時50分に防災無線放送で訓練想定 of 放送を行い、自主防災訓練の周知をするとともに、住民に訓練への参加を呼びかけました。

午前9時から隣保グループリーダーによる各世帯の安否確認及び住民に公会堂への一時避難を促しました。午前9時20分から隣保ごとに避難誘導班の避難誘導の下、約80名が公会堂へ避難をしました。避難後は、情報班などが避難者名簿作成を行いました。その後、市防災安全課の指導により、消火器・消火栓を使って、消防団・消防協力員・参加者が初期消火訓練を行いました。訓練の最後は、消防団と一般参加者による土嚢積み訓練を行い、午前10時20分頃に訓練が終了しました。

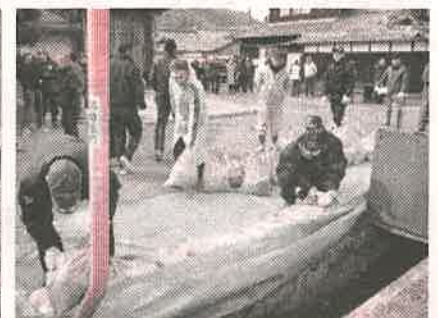
一般参加者・役員・消防団員の約100名が参加し、防災訓練の目的を達成しました。



避難誘導訓練



消火器による初期消火訓練



土嚢積み訓練



虹の会 工房だより

この冬は記録的な寒波で東京都心でも積雪量が20cm以上の所もあり、各地で交通や生活が混乱状態になりました。極寒の2月でしたが、冬季ピョンチャンオリンピックでは日本の選手も大変活躍し、連日明るいニュースが届いて来ました。日本のメダル数は歴代1位となる13個(金4、銀5、銅4)にもなりました。メダルの獲得が多かったことありますが、多くの感動を与えてもらいました。そして、3月9日から18日まで同じ会場で冬季パラリンピックが行われます。日本ではオリンピックに比べてパラリンピックへの関心は薄く、ニュースのダイジェストなどを含めても障がい者スポーツの観戦経験がある人は少ないとの調査もあります。今回はNHKも期間中に毎日30分程度のダイジェスト番組しか放送していなかったそうですが、今回は地上波で毎日数時間の番組編成を予定しているようです。想像を絶する苦労や努力をされた障がい者の皆さんの競技をオリンピック同様に皆で応援しましょう。メダル数に関係なく感動が届いてくると確信します。



就労継続支援B型事業ではお菓子の製造販売やタオル・石鹸のギフト製品作りなどの作業をしています。この他にも事業所利用者の適性に合った作業をいろいろ探しています。左は黒豆の選定作業に挑戦している様子です。根気が入りますが、黙々と作業に取り組んでいます。

お礼

☆バレンタインデーや道の駅、旬菜館等でお菓子をお買い上げいただき、ありがとうございました。心よりお礼申し上げます。これからも皆でがんばりますのでよろしくをお願いします。



西脇市の春のカルチャーフェスティバルに「生活介護げんき」が【春ですよ～♪みんなげんきに出ておいで～】の楽しい作品を出しています。見にいて下さい。市民会館にて 3月17・18日

イベント会場でみなさんが「虹の会工房のおやきは美味しい」と言ってくれます。「美味しい！」と食べていただけることが私たちの一番の喜びです。そのおやきに入れるよもぎを摘む暖かい春が間近になりました。そこで、よもぎがたくさん生殖している場所をご存じの方がおられましたらご連絡ください。お手間ですが、よろしくお願いたします。(Tel 28-5128)

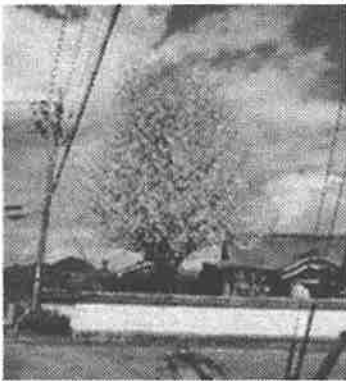
(4)

黒田庄の巨木シリーズ(6) 大門 東光禅寺の乳イチョウ

「大門のシンボルツリーは？」と聞けば、ほとんどの人が「東光禅寺のイチョウ」と答えられるでしょう。胸高幹周3.08mの巨木です。近くによると、垂乳根(たらちね)という乳房のように垂れ下がった枝群を目にして圧倒されるでしょう。

明治2年(1869)にこの地に本堂が上棟され、それ以降にこの木は植えられたと推定します。昭和54年に本堂の火災がありました。樹勢衰えることなく今日に至っています。

*垂乳根: 枝の一部が垂れ下がっている部分を乳房に見立てて名付けられました。雄の木でも雌の木でも出ます。垂乳根が発達する古木は、古来から信仰の対象になることが多く、日本各地で垂乳根のイチョウとか、乳イチョウという名称で呼ばれ、母乳がよく出るようにという願掛けなどに信仰を集めてきました。



平成30年度パソコン教室受講生募集

パソコン上手になりませんか！以前は使っていたけれど、少し離れたら使い方が分からないと思われる方、また興味のある方等、参加申し込みをお待ちしております。

【開催日時】 毎月 第1・第3金曜日 午後1時30分～3時30分

【会場】 西脇市コミュニティセンター黒田庄地区会館
(黒っこプラザ)

【内容】 ワード及びエクセル(最初はワードから)

【受講料】 月 2,000円

【定員】 若干名(継続受講生以外)

【申込み】 3月27日(火)までに下記へお申込みください。

(定員になり次第締め切りさせていただきます。)

【問合せ・申込先】 西脇市黒田庄町前坂2140 黒っこプラザ (電話28-2121)



受講風景

編集後記

桜のたよりがあちこちで聞かれるようになってきました。皆様お元気でお過ごしのことと思います。この冬は寒い寒いと言いつつも、この地域では豪雪に悩まされることなく、平穏な日々が過ごせることを幸せであると感じています。「黒田庄つうしん」の編集をさせていただきながら気になって調べてみると、昨年の4月から人口が70人程減少し、世帯数はわずかながら増加しています。今後も、明るい元気な話題をお知らせできればと思います。

(S. F)